

# 仙台塩釜港 仙台港区 中野地区 国際物流ターミナル整備事業 説明資料

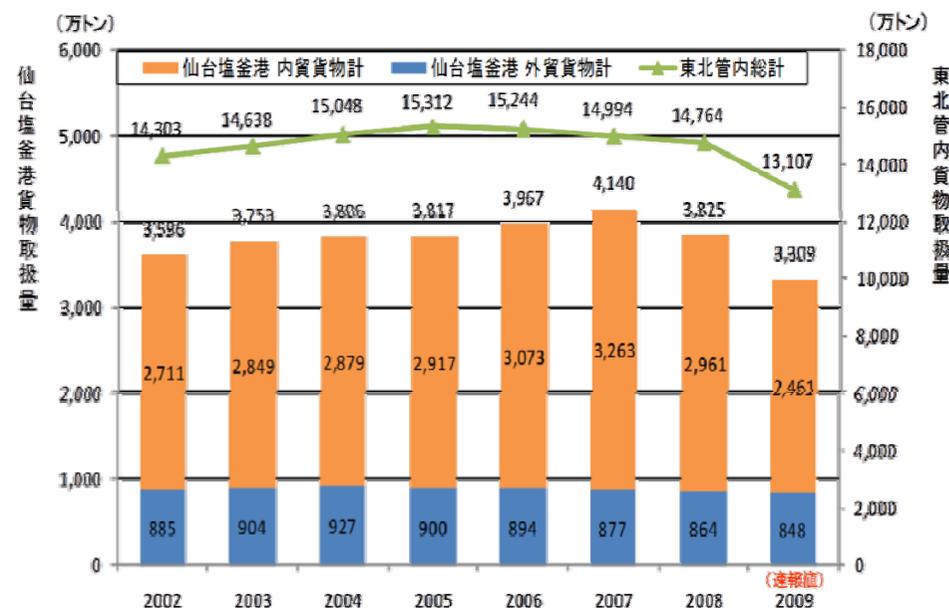
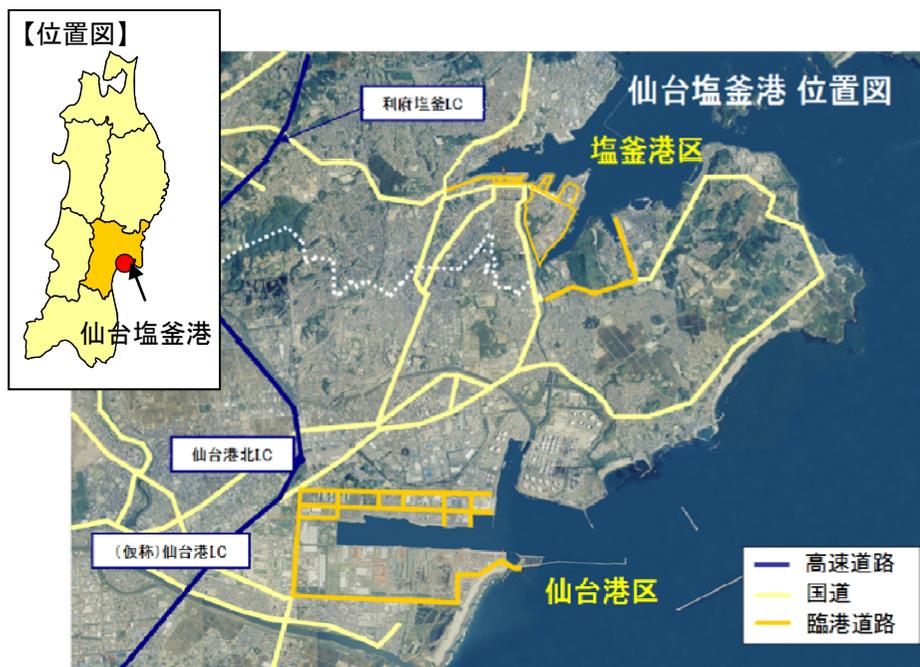
---

国土交通省 港湾局  
平成22年8月

# 仙台塩釜港の概要

仙台塩釜港は、古くから港湾としての整備が進められ、物流や漁業に加えて日本三景松島の観光拠点として発展してきた塩釜港区と、昭和39年の新産業都市指定を受けて工業開発拠点として整備された港湾である仙台港区からなる、東北地方唯一の特定重要港湾である。

仙台港区は海上コンテナ貨物からフェリー、RORO、ばら貨物といった多種多様な貨物に対応した総合港湾であり、特に海上コンテナは、スーパー中樞港湾を支える内航フィーダーが、航路数、取扱量とも日本一となっている。また、東北地方に立地する完成自動車組立工場の製品積み出しや、東北地方で販売される車両のほとんどを取り扱うなど、自動車の取扱拠点となっている。



# 事業の概要

## 【事業の目的】

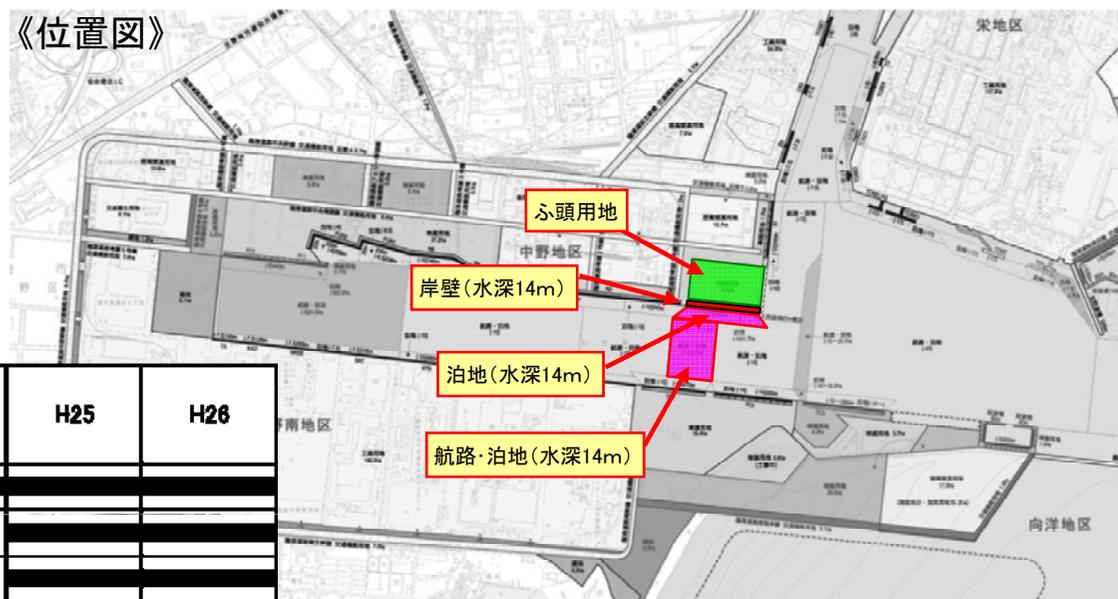
仙台塩釜港仙台港区中野地区は、完成自動車やRORO貨物、ばら積み貨物の混在により、非常に稠密で使いにくい状況となっている。米穀類や製材を輸入する大型船は既存の中野1号岸壁（水深12m）では水深不足のため、喫水調整や時間調整をして入港している状況であり、更に今後、飼料工場の生産拡大による貨物量の増加が見込まれていることから、新たなターミナルの整備が喫緊の課題となっている。

このため水深14mを有する国際物流ターミナルを整備して、非効率な輸送を解消し貨物量の増加に対応する。

## 【対象事業】

整備施設：岸壁（水深14m）280m×1バース、泊地（水深14m）、航路・泊地（水深14m）、ふ頭用地  
 事業費：約69億円

《位置図》



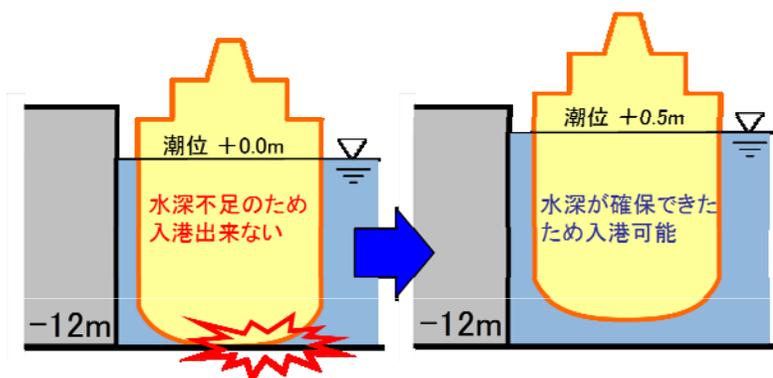
《事業スケジュール》

事業区分	地区名	施設名	H23	H24	H25	H26
直轄	中野	岸壁(水深14m)	■	■	■	■
		泊地(水深14m)	■	■	■	■
		航路・泊地(水深14m)	■	■	■	■
起債		ふ頭用地	■	■	■	■

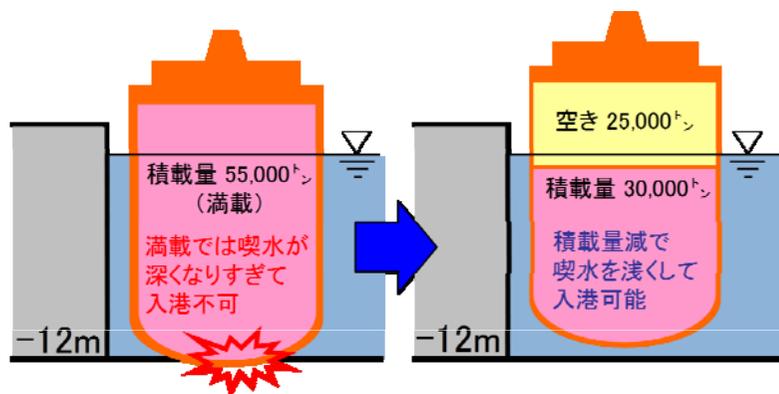
# 事業の必要性

## 【①海上輸送の効率化】

- ・ 既存の中野1号岸壁（水深12m）では水深不足のため、積込量制限や潮待ちなどの時間調整をして入港している。
- ・ 飼料工場の生産拡大により輸入貨物量の増加が見込まれていることから、物流の効率化のため、大型岸壁の必要性が高まっている。



潮待ち(沖合停泊)で潮位上昇を待って入港



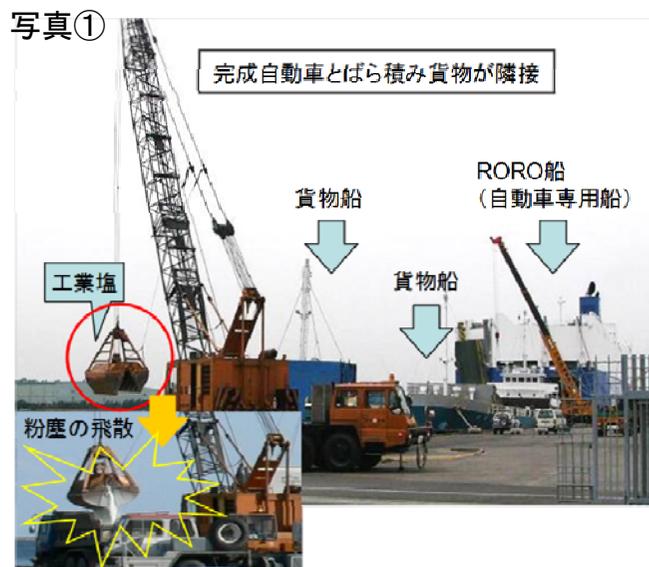
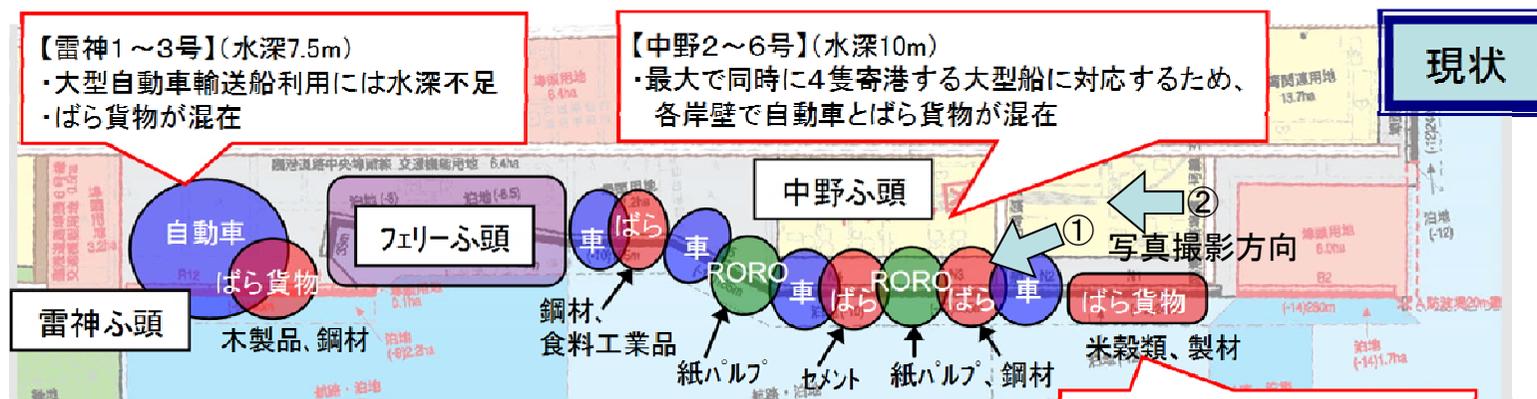
積載量を減らし喫水を浅くして入港



# 事業の必要性

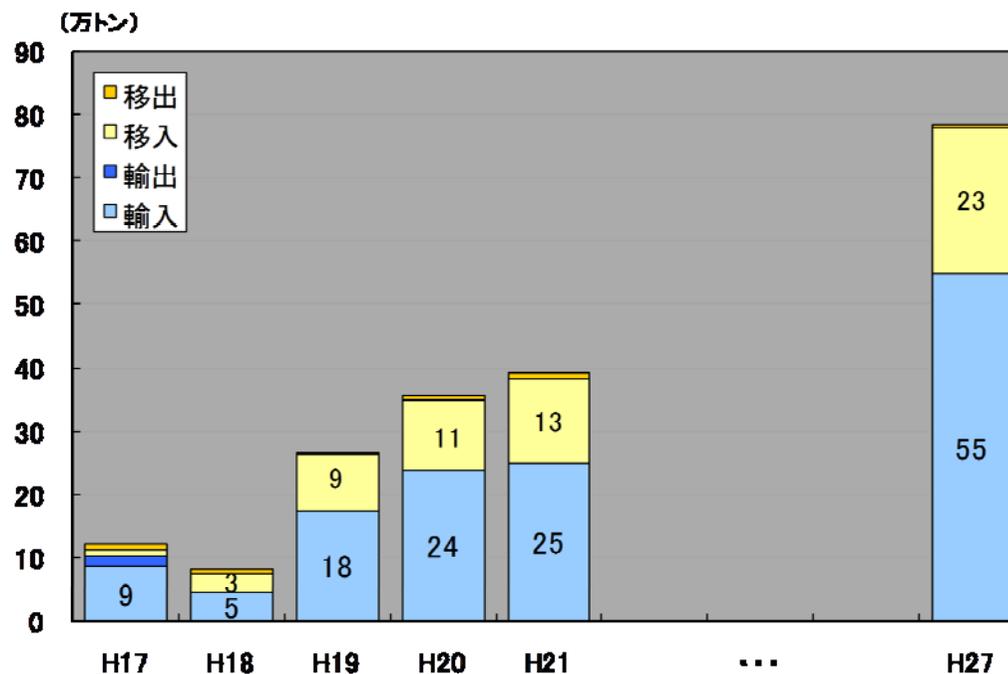
## 【②混在の解消と物流の効率化】

- ・ 完成自動車、米穀類、製材、セメント、紙パルプなど多種多様な貨物が手狭な埠頭に混在して取り扱われている。
- ・ 今後の貨物量の増大により、船舶の入港調整、貨物の混在による危険な状況の発生が確実なことから、早急に岸壁を整備することが必要である。



# 需要の推計

- ・ 米穀類の取扱量は、概ね順調に増加。
- ・ 利用企業のヒアリングにおいて、工場の生産拡大のため増加の見通し。
- ・ そのため、ヒアリングで得られた値を積み上げ、将来推計値として設定。



中野地区における米穀類の取扱量の推計

## 【便益対象貨物の考え方】

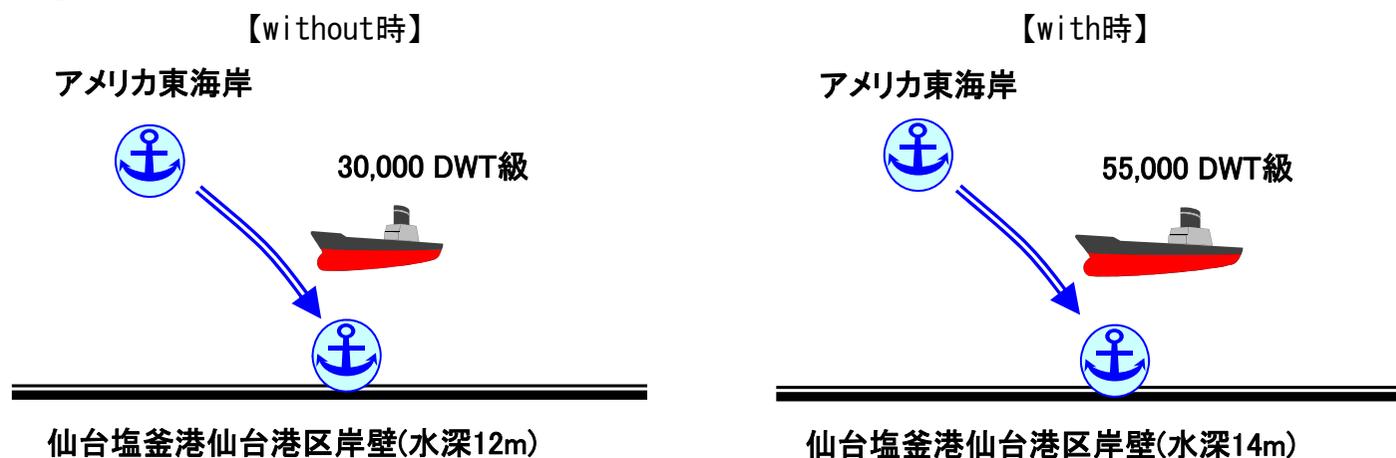
- ・ 当該岸壁で取り扱われる飼料原料のうち、大型船で輸送されるのはトウモロコシ及びマイロであり、H27年における貨物量は43.2万トン。
- ・ これを岸壁整備により発生する便益対象貨物とする。

# 費用便益分析

【便益計算】 便益 (B) = ① + ② = 136億円 (現在価値化後)

①輸送コストの削減 134.4億円 (現在価値化後)

岸壁の整備により、大型船舶による効率的な輸送網が構築され、輸送費用の削減分を便益として計上する。



②残存価値 1.7億円 (現在価値化後)

【費用計算】 費用 (C) = 事業費 + 管理運営費 = 59億円 (現在価値化後)

【費用便益分析結果】 費用便益費 (B/C) = 136 / 59 = 2.3

# 貨幣換算が困難な効果

## 【①産業の国際競争力の向上】

米穀類等の外貨貨物の増加に対応するとともに、潮待ちなどの入港調整による非効率な輸送実態を解消することにより、地域産業の国際競争力の向上が図られる。

## 【②既存ターミナルの混雑緩和】

中野地区における貨物の棲み分けが可能となることにより、ふ頭内混雑等が解消される。

## 【③排出ガスの減少】

船舶の大型化により、船舶からの  $\text{CO}_2$ 、 $\text{NO}_x$  の排出量が軽減される。

## 港湾管理者からの意見

### 【仙台塩釜港港湾管理者（宮城県）からの意見】

仙台塩釜港は、東北唯一の特定重要港湾であり、東北全体の物流拠点として東北地方の産業を支える重要な役割を担っておりますが、仙台港区中野地区においては、自動車やバラ積貨物の混在による非効率な輸送や既存岸壁の水深不足が課題となっており、穀物類の取扱量増加等への対応が困難な状況です。「仙台塩釜港仙台港区中野地区多目的国際ターミナル整備事業」は、これらの課題を解決し、非効率かつ高コストな輸送を改善するだけでなく、地域の企業活動を支援し、雇用を守るとともに、地域の活性化に不可欠と考えております。

このため、平成23年度予算における当該事業の予算化について特段のご配慮をお願い致します。